

# 自殺対策

## これまでの歩みと今後の展望

## 行政職員・精神科医の立場から



辻本 哲士 氏

精神科医  
滋賀県精神保健福祉センター長  
全国精神保健福祉センター長会会長

自殺対策は行政職員・精神科医として重要なテーマである。精神保健福祉センター等の行政機関では企画立案、技術指導及び技術援助、教育研修、普及啓発、調査研究、精神保健福祉相談などで、精神科医療機関では診療で、様々に実践されてきた。自死遺族支援に関しては「遺された人への支援を充実する」と、自殺総合対策大綱に明記されているものの、まだまだ不十分である。自死が起こると家族はもちろん、支援してきた行政職員・精神科医も強い心理的な影響を受ける。支援の現場でも「遺された」課題は多い。行政職員・精神科医としての自死遺族支援全般、コロナ禍における遺族支援の現状や課題・対処について概説する。

2021年 10月 16日 土  
15:00 ~ 17:00

対象

全国各地で自殺対策そして遺族支援活動に関わっている方、関心のある方

定員  
50名程度

参加費  
無料

Zoom 使用による  
オンライン開催

申込み締め切り  
10月13日 水

申し込みはこちら



▼申込みフォーム  
<https://www.izoku-center.or.jp/kouenentry.html>